

2019年12月15日

アドベント第3週礼拝説教要約

## 主は来られる

(1コリント4・15)

### 一、「クリスマス」より知る

クリスマスは、何かが分かるのでしようか。それは、天地万物を造られ、人を男と女に創造された神は、造りつ放しではないということです。常に私たちに関心を持ち、かかわろうとしておられます。それは、子供に対する親の姿に似ています。聖書が指し示す神は、霊の親でもあります。その場合の「霊」とは、ひとりひとりを他者から区別し、一個人として源の意味です。神さまは私たち一人ひとりをかけがえのないものとして世に生み出されました。創世記によれば、神は人を特別な存在として、男と女に造られたことが分かります。人を造られたことについて、特別な言葉が充てられていることから分かります。ご存じのように、創世記1章1節には「初めに、神が天と地を創造した。」と書かれています。そのあとに、「神は大空を造り、大空の下の水と、大空の上の水とを区別された。そのようになつた。」とあり(1・7)、「創造した」という言葉は使われていません。ところが、人については次のように記されています。「神は人をご自身のかたち

として創造された。神のかたちとして彼を創造し、男と女とに彼らを創造された。」と(1・27)。人を造られた箇所だけ、「創造された」という言葉が使われています。「初めに、神が天と地を創造した。」と同じ言葉です。「創造する」と「造る」とでは、「創造する」のほうが根源的な意味を持っています。ということは、聖書は人間を特別なものとして造られたと語っている、と知りません。神が人間を特別な存在として創造されたことが、クリスマスを始め、神の様々な働きを知る上で重要です。神の、人間との関わりにおいて、見えない神が見えてまいります。

### 二、神は自由を授けられた

神は、とてつもなく大きな自由を人間に授けられました。それは、神に頼らず、自分の知恵で生きていく決断もできるほどの自由でした。こうして、最初に造られた人アダムはエバと共に、神に頼らずとも、自分の判断、自分の決断で生きる道を選びました。最初の人アダムは自らの意思によって創造主なる神から離れてしまい、罪人の代表になつてしまいました。ですが、神はそれを放っておかれるお方ではありません。罪人である私たちが、自らの意思によって、神との交流を始められるように道を備えてくださいました。それが、主イエス・キリストの為さつたことです。

主イエスは神が人となられて生まれられたお方です。父・子・聖霊なる神は、ご自身のすがたに似せて創造された、特別な存在としての人間が、自らの意思で神に立ち返る道を備えられました。そのことを思いますなら、主イエスの降誕、すなわち子なる神がお生まれになつたことに特別な意味があることが、お分かりになられると思います。そのお方は、すなわち主イエスは私たちが受けなければならぬ聖なる神からの罰を、私たちに代わつて受けてくださいました。それを信じるなら救われ、罪の問題が解決されます。このメッセージこそ、旧新約聖書の中心です。

### 三、ちよつど良い時に

4章5節に戻ります。「ですから、あなたがたは、主が来られるまでは、何についても、先走つたさばきをしてはいけません。主は、やみの中に隠れた事も明らかに出し、心の中のはかりごととも明らかにされます。そのとき、神から各人に對する称賛が届くのです。」と書かれています。主イエス・キリストは再びお出でになります。一回目とは異なり、人の子として生まれるというかたちで来られるではありません。雲に乗つて来られます。これは、当時の世界観によつて語られた表現なので、どのように受け止めるかについては、幅があつてまわらないと思います。

「まもなく主が来られる、すなわち再臨がある」と語られてから2千年近くの年月が流れました。ですが、私たちは聖書によつて神のご性質を見だし、神を信じています。そうすると、次のことが分かります。「遅れているのではない。ちよつど良い時に来られる」と。神の為さることはすべてにおいて言えますが、「ちよつど良い時」です。クリスマスは、紀元前5年前後のある日の出来事でした。ルカの福音書によれば、羊飼いが野宿をしていましたから、冬ではなかったと思われまふ。ですが、私たちは伝統的に12月25日を降誕日、すなわちクリスマスとして受け止めています。いざれにしても、主イエス・キリストが生まれられたのは、実にちよつど良い時でした。さらに、主イエスにながつている一人ひとりに言えますが、私たちがそれぞれにイエス・キリストを信じた時は、ちよつど良い時でした。ということは、自分の目から見るなら「どうして、こんなことになつてしまつたのだろうか」と思う出来事があるかも知れませんが、救い主イエス・キリストを信じますと、目からうろこのようなものが落ちて、すべては神のご配慮の中で起きています。信じることができるようになります。主イエス・キリストの恵みと、神の霊の働きにより、そのようになります。